

伊丹・平和の美術展

題字 加登瓦川

伊丹市芸術家協会総会を開催



5月16日(土)、東りいたみホールで「令和8年度伊丹市芸術家協会総会」を開催しました。令和7年度事業報告及び決算報告、令和8年度事業計画及び予算についての議案はすべて承認されました。

今後の主な事業は、「新人賞・新会員の選考会」及び「新人賞表彰式」、来年2月「舞台・芸術事業」、3月「芸術家協会展」、芸術家協会展の展覧会関連事業として「ワークショップ」の開催を予定しています。また、来年度の40周年記念事業の実施に向け、今年度から徐々に計画を進めていく予定にしています。

第33回 伊丹・平和の美術展を開催

8月7日(金)から11日(火)まで、東りいたみホールで「第33回 伊丹・平和の美術展」を開催しました。

伊丹市芸術家協会を中心に伊丹美術協会・ポプラの会・働美協会・祥彩会による実行委員会形式により実施しました。今回は、「平和」をテーマとし、戦争や平和への想い、また日常の中にある穏やかなひとときなど平和にまつわる多様な視点から表現された作品を募集しました。絵画や工芸、彫刻、写真、書、デザインの計63点の作品を展示、5日間で355人にご来場いただきました。来場



者からは「様々な平和の捉え方が素晴らしかった」「今この時代、平和を願うことの大切さを芸術から声を発する素晴らしい展覧会だった」などの感想をいただきました。

ご来場いただいた皆様が、作品に込められたそれぞれの思いに触れることで、平和への願いを深める機会となっておれば幸いです。



展覧会関連事業 ギャラリーコンサートを開催

8月11日（火）、「第33回 伊丹・平和の美術展」の展覧会関連事業として、同会場内で、ギャラリーコンサート～ホルンとピアノが奏でる平和への響き～を開催しました。

池田留位さん（昨年新人賞を受賞）のホルンと村上彩菜さんのピアノにより、ジュピター（ホルスト）、浜辺の歌（成田為三）、ノクターン Op.7（F.シュトラウス）などが演奏されました。

池田さんによると、戦争や地震など心を痛める出来事が続く今、一日も早く穏やかな日常が



村上さん（ピアノ）

池田さん（ホルン）

戻りますようにと願って選曲されたそうです。

美術作品に囲まれた特別な空間で、温かく深みのあるホルンと豊かなピアノの響きが調和し、心に染み入る音色が会場を魅了しました。

抽象画家 初田 寿先生

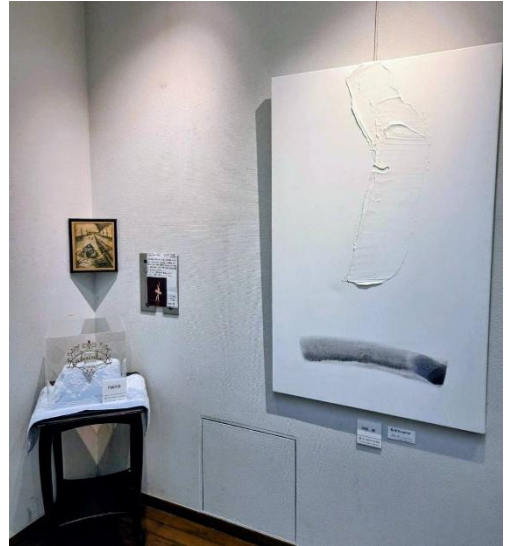
門脇早苗

今年神戸で開催された「阪神淡路大震災をテーマとした作品展」に作品を出品させていただきました。搬入時、多くの出品作品の中、私の作品は素晴らしい作品の横に展示されていて驚きました。その作家は、抽象画家の初田寿先生でした。作品展開催中に初田先生とお話する機会があったので、「初めまして。門脇早苗と申します。先生の素晴らしい作品の横に作品を展示させていただきました大変光栄に存じます。」と自己紹介し、楽しくお話をしました。また、作品の前で先生と写真を撮らせていただきました。その時、初田先生の卒寿記念個展が今年7月11日から開催されることを伺いました。初田先生は「僕、90歳になるんだよ!」と言われ、私は初田先生に7月12日にギャラリーに伺う約束をしました。

ところが、7月11日に個展ギャラリーに連絡をしたところ「初田先生は昨日7月10日にお亡くなりになりました。」と信じ難い知らせを聞き、私は号泣しました。

それでも約束していた7月12日、初田先生の個展に行かせていただくことにしました。個展には今年に入って描かれた大作が多く展示されており、制作意欲に圧倒されました。木枠も手作りで、ムダなものを全てそぎ落された作品は存在感があり力強く「生きるとは何か」を我々見る側に静かに教えてくれていました。御自身の集大成となる個展開催前日に天国に旅立たれ、無念だったことだと思います。ギャラリーに初田先生の姿はありませんでしたが、先生の魂は生きておられるのだと思いながら鑑賞させていただきました。

初田寿先生、本当にありがとうございました。



「阪神淡路大震災をテーマとした作品展」にて



筆者

初田寿先生



初田寿先生の作品

タラセア スペインからの風

「星野尚 木の絵画タラセア 45年の歩み」

藤本貴洋

「タラセアという言葉を知っていましたか。タラセアというのは中世ヨーロッパで発達し現在でもスペインに受け継がれた天然木を板状に切り取り、象眼として組み合わせてはめ込む技法で絵画や模様を表現する手法です。」

この技法を現地スペイン・コルドバで学び、日本で長年にわたり作品として作り続けてきた作家の展覧会が7月17日から8月23日まで宝塚市文化芸術センターで開催された。

「星野尚 木の絵画タラセア 45年の歩み」展がそれである。会場には伊丹市芸術家協会 会員星野さんの45年にわたる作品が約180点陳列され、圧巻の世界が展開していた。



作品はスペインはじめヨーロッパ各地を星野さんが旅をして描きとめたスケッチを元にし、様々な木材を電動糸鋸で加工し象眼として埋め込まれた精緻で高度な作品群であった。タラセアで表現された作品もさることながら横に並べられた氏のスケッチの見事さにも目をうばわれた。それ以外にも花鳥風月や日本の原風景を題材にした作品やタラセアの手法が理解できる展示作品もあり興味が尽きない展覧会であった。

今後は小品にも積極的に挑戦してみたいと星野さんは意欲を見せていた。次の50周年の作品展を楽しみにしたいと思う展覧会であった。



星野さん作品「ローデンプルグ」



作品のモチーフとなった
ドイツ・ローデンプルグの街並み

Brides of Sound コンサートの報告

奥野英子

Briges of Sound と題した本公演は、令和8年3月5日19時より東り いたみホール地下1階 多目的ホールにて開催いたしました。今回はドイツで共に活動するマーティン・ゴンショレック氏を迎え、日本歌曲、ピアノソロ、シューマンやフランクの作品を織り交ぜ、日本とヨーロッパを音楽で繋ぐことを意図したプログラムをフルートとピアノでお届けいたしました。

伊丹市芸術家協会様より支援金および後援を賜り、深く感謝申し上げます。当日は幅広い世代の約70名のお客様にご来場いただき、温かいご声援とともに大変好評をいただき、盛会のうちに終演することができました。



会員活動通信

(部門別50音順)

<邦楽>

菊井松音

新都山流尺八兵庫県支部演奏会	レバンテホール (垂水区文化センター)	10月11日(日)
兵庫県高等学校邦楽コンクール	アワーズホール (明石市民会館)	11月8日(日)
第46回近畿高等学校総合文化祭兵庫大会 日本音楽部門 (兼 第40回近畿高等学校邦楽・日本音楽演奏会)	東り いたみホール	11月22日(日)
大阪三曲協会・第73回各派名流三曲定期演奏会	国立文楽劇場	2027年 1月31日(日)
東日本震災チャリティーコンサート	玉水記念館	2027年 3月6日(土)・7日(日)
菊井箏楽社第57回定期演奏会	東り いたみホール	2027年 4月11日(日)

<書>

酒居石荘・福谷華紅

デザインとして見る篆刻の展開 不華篆会習作展 XXXIV ー「旅」字をデザインして生活の中に書・篆刻ー	市立伊丹ミュージアム 旧岡田家住宅 酒蔵	10月16日(金)~18日(日)
---	-------------------------	------------------

編集・発行 伊丹市芸術家協会

[事務局]伊丹市文化振興課

〒664-8503 兵庫県伊丹市千僧1丁目1番地

TEL072-784-8043 FAX072-784-8048